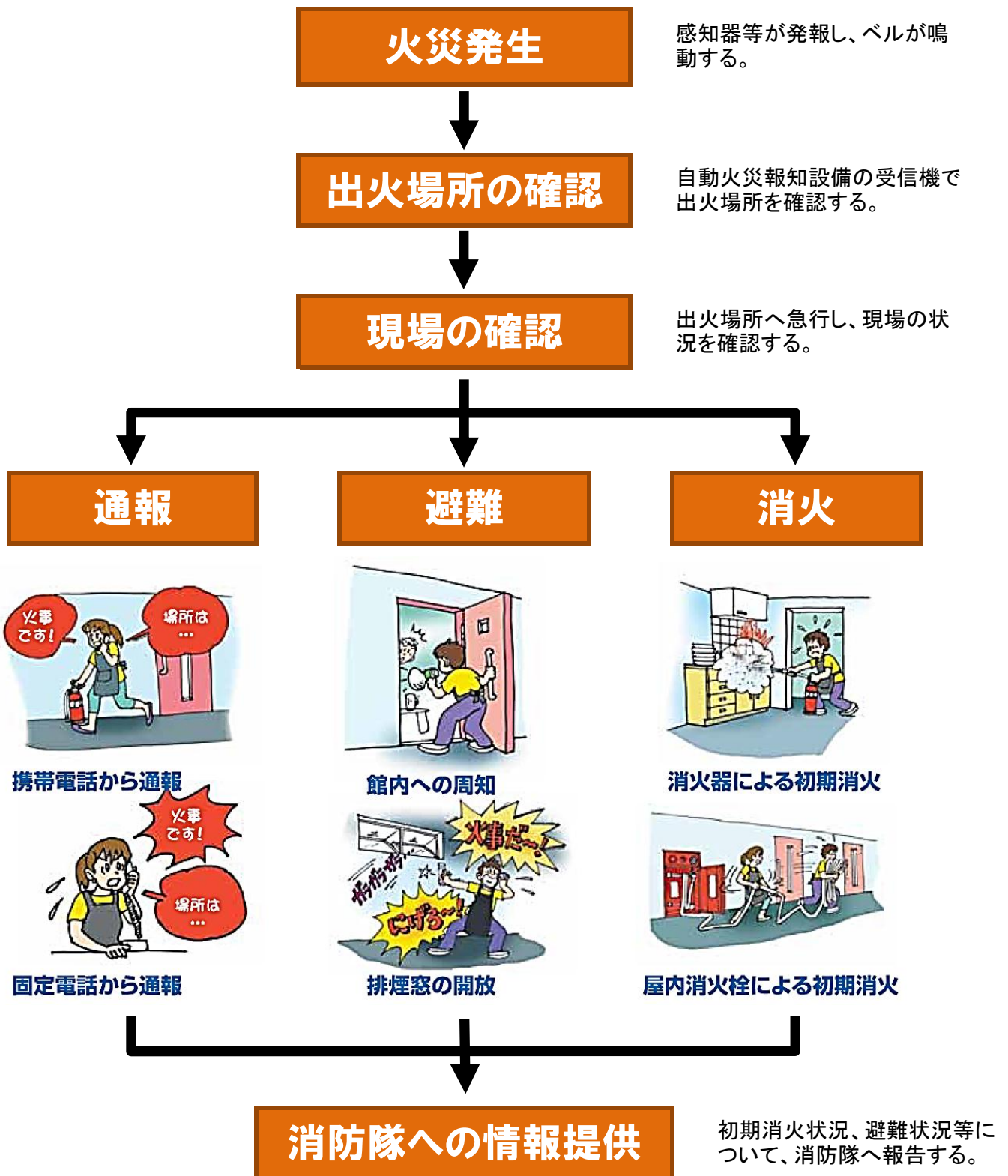


消防訓練 マニュアル

火災の状況や対応する人員数、利用客などによっては異なりますので、臨機応変に行動できるように訓練してください。



火災への対応ポイントは、迅速・的確な通報と避難です！

出火場所の確認の流れとポイント

1 火災発生



自動火災報知設備のベルが鳴りました。
どこかで火事です！

2 出火場所の確認



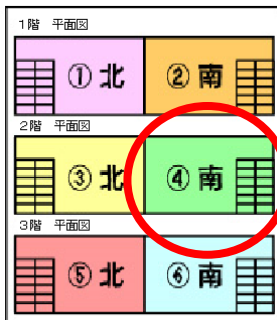
「④南」が点灯！



出火場所を受信機で確認します。
火災表示灯の点灯している表示窓を確認します。

3 警戒区域図の確認

警戒区域図



「④南」は、2階の南側だ！



警戒区域図で、火災表示灯が点灯した
場所と区域図を照合させます。

4 現場の確認



出火場所へ向かい、火災の有無を確認します。
近くの消火器を持って確認に行きましょう。

5 火災の発見



火災を発見した場合は、他の従業員へ火災であることを伝えます。

通報

避難

消火

役割分担ごとに自衛消防活動を開始します。

通報の流れとポイント

1 火災発生



自動火災報知設備のベルが鳴りました。
どこかで火事です！

2 出火場所の確認



出火場所を受信機で確認します。
確認後は、出火場所へ向かい、火災の有無を確認します。

3 現場の確認



火災を発見したら、大きな声で
火事を知らせます。



火事ぶれの例

4 消防署への通報

固定電話、携帯電話などで速やかに119番通報
します。



避難誘導の流れとポイント

1 火災発生



自動火災報知設備のベルが鳴りました。
どこかで火事です！

2 出火場所の確認



出火場所を受信機で確認します。

3 現場の確認



出火場所へ向かい、火災の有無を確認します。

4 館内への報知



火災の場合は、館内にいる方へ火災発生を知らせ、指示に従うよう伝えます。
同時に排煙窓を開放します。

5 避難誘導



避難者を誘導します。
「頭を低く！ 煙を吸い込まないように！」

6 逃げ遅れの確認



逃げ遅れ、けが人の有無を確認します。

初期消火の流れとポイント

～ 消火器編 ～

1 火災発生



自動火災報知設備のベルが鳴りました。
どこかで火事です！

2 出火場所の確認



出火場所を受信機で確認します。

3 現場の確認



確認後は、消火器を持って出火場所へ向かい、火災の有無を確認します。

4 初期消火判断



天井まで火は届いていません。
まだ消すことができそうです。

5 消火器の準備



慌てずに消火器を準備します。

6 消火活動



火元に向けて消火剤を放出します。

初期消火の流れとポイント

～ 屋内消火栓編（1号消火栓）～

1 火災発生



自動火災報知設備のベルが鳴りました。
どこかで火事です！

2 出火場所の確認



出火場所を受信機で確認します。
確認後は、出火場所へ向かい、火災の有無を確認します。

3 現場の確認



天井まで火は届いていません。
まだ消すことができそうです。

4 消火栓ポンプ起動



起動ボタンを押し、消火栓ポンプを
起動します。

5 ホース延長



ホースにねじれがないように確認しながら延長し、出火場所に向かいます。

6 消火活動



出火場所に接近した操作員の放水準備が
できたら、「放水はじめ」の合図で、消火栓
の開閉弁を開放し放水します。

※ 1号消火栓は、2人で操作します！

初期消火の流れとポイント

屋内消火栓編

(2号消火栓・易操作性消火栓)

1 火災発生



自動火災報知設備のベルが鳴りました。
どこかで火事です！

2 出火場所の確認



出火場所を受信機で確認します。
確認後は、出火場所へ向かい、火災の有無を確認します。

3 現場の確認



天井まで火は届いていません。
まだ消すことができそうです。

4 消火栓ポンプ起動



起動ボタンを押し、消火栓ポンプを起動します。開閉弁を全開にします。

5 ホース延長



ホースを持ちながら、出火場所に向かいます。

6 消火活動



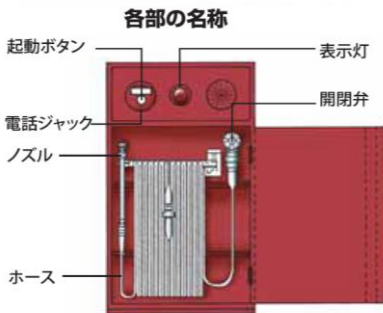
ホースノズルのコックを開き放水します。

2号消火栓・易操作性消火栓は、ホースがドラムに収納されているため、収納状態でもホース内に水を流すことができます。このため、一人で操作することができます。

屋内消火栓設備の使い方

まさかの火事に備え、使用方法を知っておいてください。

1号消火栓の使い方



1 消火栓ポンプ起動



起動ボタンを押し、消火栓ポンプを起動します。

2 ホース延長



ホースにねじれがないように確認しながら延長し、出火場所に向かいます。



注意



ホースを延長する前に開閉弁を開けると、水で充満したホースがボックス内に拵がって取り出せなくなることがあります。必ず操作手順を守ってください。

3 開閉弁開放・放水開始



出火場所に接近した操作員の放水準備ができたなら、「放水はじめ」の合図で、消火栓の開閉弁を開放し放水します。

2号消火栓・易操作性消火栓の使い方

2号消火栓・易操作性消火栓は、ホースがドラムに収納されているため、収納状態でもホース内に水を流すことができます。このため、一人で操作することができます。



1 消火栓ポンプ起動



起動ボタンを押し、又は開閉弁を開放すると消火栓ポンプが起動します。

2 ホース延長



ホースを持ちながら、出火場所に向かいます。

3 放水



ホースノズルのコックを開き放水します。



- 1 訓練中は安全を管理する担当者を設けましょう。
- 2 ホースを延長するとき障害となる物がないか確認しましょう。